

Camponotus fedtschenkoi

Mayr, 1877

コハクオオアリ

中央アジアの乾燥したステップにすむ淡い金色のオオアリで、地面に巣を掘り、夜に外へ出てきます。



写真：Harrison J Elkins (elkins456), CC BY 4.0

ひと目でわかる情報



巣の温度

24–28 °C

巣の中



巣の湿度

50–70 %

巣の中



休眠

15–18 °C

12月–2月



結婚飛行

4月–5月

働きアリ

4–9 mm

大型働きアリは最大12 mm



女王

12–14 mm

女王は1匹



コロニーの規模

働きアリ2,000匹規模

成長速度：普通

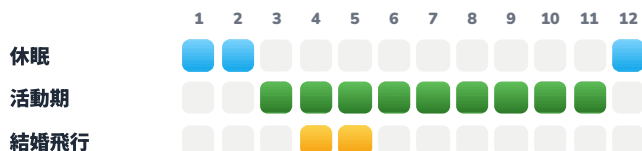


脱走リスク

中程度

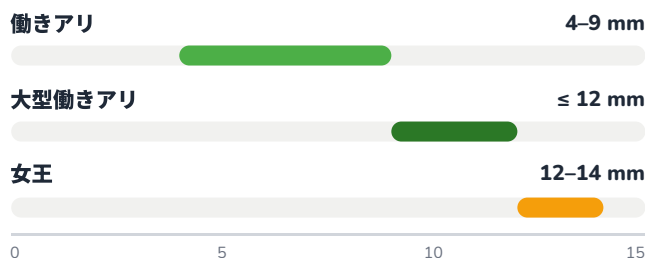
アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

1年をひと目で



この種の実産地での月です。正確な日は天気で決まり、室内で飼育しているコロニーは別のリズムになることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

- Ytongの巣
- アクリル製の巣
- 自然再現型のセットアップ

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ⚠ 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

飼育者からのメモ

ヒント

巣には湿った隅を1つ作り、残りは乾いたままにしておきましょう。これは乾いた土壌にすむアリで、ある飼育者が巣に水をやりすぎたところ、働きアリが慌てふためいて砂を運び回り始めました。

注意

巣全体を温めてはいけません。ある飼育者の日誌には、若いコロニーの下にヒートマットを敷いたあと大量死が起きたと書かれており、飼育者は過熱が急な変化の原因だと考えています。温めるのは片側だけにして、アリが好きな場所を選べるようにしましょう。